

ダイヤモンドケース

加工精度と施工技術の
合わせ技

■ 製品特徴

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| ○展示内容 | ○サイズ |
| ダイヤモンド型 | W1200×D600×H1400 |
| ○使用ガラス | (ガラス部W1200×D600×H700) |
| 2枚合わせガラス | |
| (高透過ガラス5mm+中間膜15mil+高透過ガラス5mm) | |

通常のガラスケースと大きく意匠の異なる多角ダイヤモンド型ショーケース。複数の傾斜磨き加工を組み合わせる加工精度、それをダイヤモンド型に組み上げる施工技術。どちらが欠けてもケースとして成立させることができません。



施工技術

ガラスによって僅かに異なる加工精度の差を考えたが、組み上げる施工技術も持ち合わせています。数多くのガラスショーケース製作に携わってきたノウハウ・治具を用いて製作することができます。

加工精度

コンマ数度ずれたら合わない傾斜磨き加工をピタリと合わせることで、このような異型でも美しいケース成型ができます。また、通常の単板より加工の難しい合わせガラスを使用しているため、より高い加工精度を実現しています。



宮吉硝子株式会社 〒466-0059 名古屋市昭和区福江三丁目7番2号

建築設計のエンジニア・建築事業

建築家・建築士の方々が描かれたプランを実現するため、ガラス建材のフルオーダーメイドに対応いたします。既製のガラス建材の組み合わせでは実現不可能な設計プランも、オーダーメイドを視野に入れば実現の可能性は大きく広がります。海外の工場での生産を提案させていただく場合は、製造工程から、品質確認、輸入にいたるまでを弊社スタッフが責任を持って管理し、高いクオリティの製品を適正コストで調達するお手伝いをさせていただきます。また施工現場状況に応じて施工機・施工器具の開発もします。

■ FEM 解析例

建材厚向け傘形状ガラス強度検討結果

1. 目的
建材厚に展示する傘形状ガラスについて、強制曲げ(コールドベント)した場合の変位および応力を確認します。
2. 検討ガラス
・ ガラス構成 : 化学強化ガラス
・ ガラス厚み : 1.1mm
3. 検討ガラス図面
4. 検討結果
下図のガラスを傘形状に強制曲げ(コールドベント)した結果、ガラスの最大発生応力は下記の通りです。
・ 最大発生応力度 $\sigma = 42.3(\text{MPa})$
FEM解析による変位・応力コンター図を次頁に添付します。

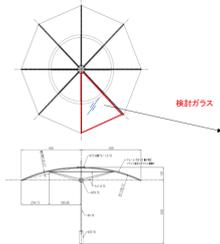


図1 傘形状ガラス図面

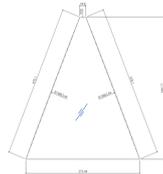
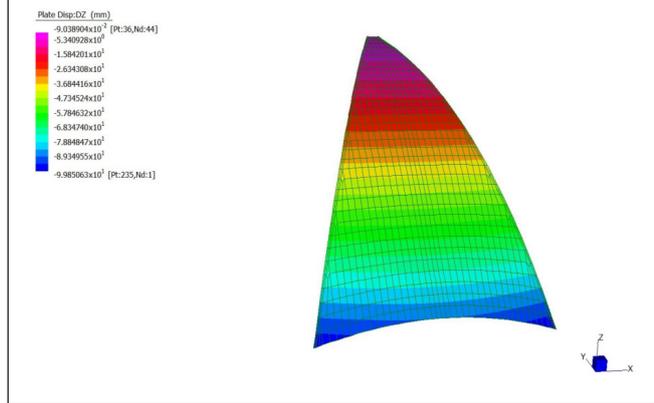


図2 ガラス形状

変位コンター図



■ 施工事例



海外分野 上海宮吉貿易有限公司

MIYKICHI GLASS
BUSINESS
FIELD 03

現地駐在の日本人スタッフが日本および諸外国向けにガラスをはじめとした、建築金物全般の調達を行います。

日本の品質を満たす優良サプライヤーとの連携により、国内では実現できない意匠や価格を実現いたします。